

2007 年度

科目名 心理学特講Ⅱ	対象学科・学年 教育教福3回生	担当者 熊野 道子
授業テーマ 臨床社会心理学の基本的な考え方から最新の研究例、臨床場面への応用例までを理解する。		
授業の概要と目標 心の不適応の問題は従来、心理学の分野では心のケアを扱う臨床心理学が取り組んできた。近年、心の問題に社会心理学のアイデアや研究成果からアプローチする臨床社会心理学が注目を集めている。この授業では、基本となる社会心理学のアイデアや研究成果を踏まえた上で、その社会心理学のアイデアや研究成果を臨床や教育場面へ応用した内容を理解することを目標とする。		
評価方法 試験と平常点（出席状況、課題への取り組み状況など）により総合的に評価する。		
テキスト はじめての臨床社会心理学	著者 坂本真士・佐藤健二 （編）	出版社 有斐閣
参考書 必要に応じて授業の中で紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 臨床社会心理学とは 2. 「なぜ？」を読み解く 3. どうして憂うつになるのか？ 4. 勉強ができなくてつらい 5. 自分を意識する心 6. 自己注目から見る落ち込み 7. 「自分」が脅かされる 8. 本当の自分・仮面の自分 9. 自己開示をすると健康になるか？ 10. 対人場面での不安 11. 人を助け、支えること 12. 人はなぜ攻撃するのか？ 13. 生きていくには生きがいが必要か？ 14. これからの臨床社会心理学 15. 試験		